



Chance for Children

公益社団法人 チャンス・フォー・チルドレン

ANNUAL REPORT

2023
2024

年次報告書

多様な学びを
すべての子どもに



子どもたちの教育格差をなくす

スタディクーポン

Study coupon



子どもたちの声

Messages from the Children

2023年度は皆さまからのご寄付をもとに961名の子どもたちにスタディクーポンを届けることができました。クーポンを利用した子どもたちの声をご紹介します。

私が初めてクーポンをいただいたのは中学生の、学校に通えていない時期です。差ぎ込んで入と関わることができなかつたころ、知人にチャンスフォーワードレシの話を教えてもらったのがきっかけです。いただいたクーポンを使って塾に通い、苦手を数学を教わりながら、少しずつ外に出ることができるようになりました。

福島県 / 高校3年生

模試の成績は、志望校に今一歩届かず、勉強法であったり、受験までのモチベーションの保ち方であったり、一歩も志望校を目指す仲間が自分の成長に大きく関わっているのではないかと考えたため、塾に入ると決めた。しかし、経済的に塾に入るには難しい状況でした。そこで、チャンスフォーワードレシのクーポン制度を知り、申込した。これを、使うことで塾に通えるかと思いました。そして、自分の成長できると感じ、とてもうれしく思いました。大学卒業後は、法科大学院に進み、弁護士、や校長などの活躍を目指そうと努力します。

宮城県 / 高校2年生

私は母子家庭で、お母さんが専業主婦、生活に余裕はありません。他の家のようにお金の貸い買っていません。下に弟が2人居て、母は毎日私のために働いて夜まで夜中まで。私は今から医学部に付くのは夢ですが、お金の無いという事で夢を諦めたくありません。自分で勉強していくのも限界があり、塾に行かせて欲しいとも思っています。このスタディクーポンを利用して頂けると大変、本当に感謝しています。

母がお母さんの周りの忙しさに、その為には頑張るからと言ってくれました。沢山の人が私の夢を応援してくれている、その道に付いてくれている、その感謝の気持ちを毎日持ち、絶対に夢を叶えます。その為には仕事も頑張ります。努力を惜しみません。

埼玉県 / 中学3年生

私は母子家庭を育ち、母がとんぱに寝ずに働いても経済的に苦しくて、大学なんて幼少の頃から選択肢にはありませんでした。早く大人になって働いて家計を助ける事しか頭にありませんでした。ですが、私のような者を助けてくれる団体がある、と知ってから自分のやりたい事や夢について生まれて初めて考える事ができました。中学、高校と、周りの友達や塾の話で楽しく盛り上がっているのをずっと指をくわえて見ていました。そんな思いをしている人は絶対に私だけではないと思います。私はスタディクーポンのおかげで初めて塾に通う事ができ、勉強はもちろん、他校の同じ夢を持つ友達と情報交換などもできました。本当に有意義な時間でした。

宮城県 / 高校2年生

クーポンを支給してもらったおかげで塾に通うことができ、成績も上がりました。成績が上がると、勉強のモチベーションも上がりそれから成績も上がりました。月に一回お母さんとお話しして楽しく、どう勉強したらいいか、興味を話したりして楽しく、勉強のモチベーションを保てました。

千葉県 / 中学2年生

ぼくは、中学生になってからバレー部に入ってから仲間と一緒に練習をしています。ぼくはバレーをもっと上手になりたいという気持ちで去年の夏からクーポンを利用してバレーを専門のコーチから教えてもらっています。おかげでバレーが上手になりましたし、たくさん練習ができました。

宮城県 / 中学1年生

2023年度のCFCの活動実績 (2023.4-2024.3)

961名へスタディクーポンを提供

事業内容	経済困窮家庭の子どもへのスタディクーポン提供
対象地域	東北地域(岩手県、宮城県、福島県)、関東地域(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、関西地域(京都府、大阪府、兵庫県)
クーポン利用者数	961名 (一般枠:705名、推薦枠 ^{※1} :60名、SMBCグループ・スタディクーポン枠:196名) (小学生:54名、中学生:601名、高校生:303名、高校卒業生(浪人生等):3名)
クーポン利用期間	2023年4月1日～2024年3月31日 ^{※2}
クーポン給付額(1人当たり給付額)	2億1,341万円(小学生:15万円、中学1・2年生および高校1・2年生:20万円、中学3年生、高校3年生および高校卒業生:30万円 ^{※3})
クーポン利用率 ^{※4}	83.4%
クーポン利用先数	3,168教室
面談回数	1,638回
進路実績	高校等進学率:98.5% 大学等進学率・正規雇用就職率:89.2% 希望進路達成率:92.3%
審査基準	新規:世帯所得状況、学年 継続:世帯所得状況、当該年度のクーポン利用状況

【※1】推薦枠とは、登録された指定機関(自治体・支援団体等)から、経済的困難に加え、障がい・疾病・不登校などの困りごとを抱え、特に支援が必要な子どもを推薦いただき、クーポンを随時提供する枠組み。 【※2】SMBCグループ・スタディクーポンの利用期間は2023年9月1日～2024年3月31日。 【※3】SMBCグループ・スタディクーポンでは一人当たり20万円を提供。 【※4】クーポン利用率は利用額/給付額。利用されなかったクーポンは次年度以降のクーポン費として充当される。

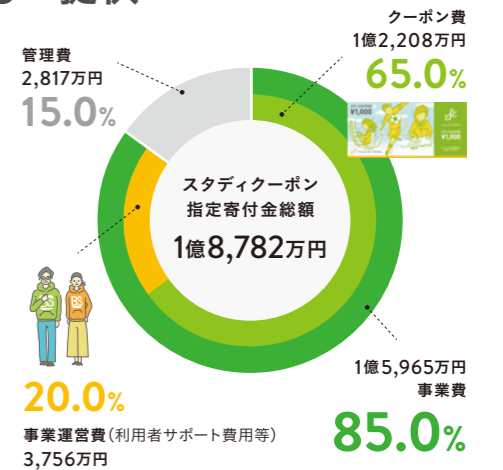
2024年度の計画 (2023年度にいただいた寄付金の使途)

1億7,020万円分のクーポンを660名の子どもへ提供

2023年度にいただいたスタディクーポン事業への指定寄付金・賛助会費1億8,782万円のうち、85.0%にあたる1億5,965万円を事業費として使用します。このうち、1億2,208万円をスタディクーポン費に充当し、運営費指定寄付金のクーポン充当分等を加え、2024年度は総額1億7,020万円分のクーポンを660名の子どもたちに提供する予定です。残り3,756万円は、事業運営費として使用します。事業運営費の内訳は、クーポン利用者募集審査、利用者のサポート(コーディネーターによる相談支援、大学生ボランティア育成や定期面談)、教育事業者の募集審査、効果検証などの費用です。

スタディクーポン指定寄付金・会費使途に関するお約束

- 1 寄付金の85%^{*}以上を子どもへの直接的な支援費として使用
※65%以上をスタディクーポン費、残り20%程度を事業運営費に充当。
- 2 寄付金の15%未満を法人の管理費^{*}として使用
※子どもたちを間接的に支えるための費用。管理を行う職員の人件費、広報費等。

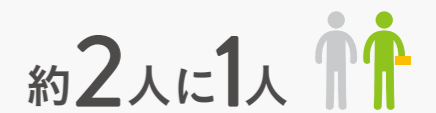


2024年度スタディクーポン新規利用への応募状況

応募者の半分以上が落選

寄付金不足により、600名以上の子どもたちにクーポンを届けることができなかった昨年度の状況を踏まえ、2024年度の新規クーポン利用者募集では、対象を受験等により支援の緊急度の高い中学3年生および、高校3年生に限定しました。それでもなお、153名の定員に対し、367名の応募が寄せられ、約2人に1人しか教育機会を提供することができませんでした。より多くの子どもたちに学びの機会を届けることができるよう、皆さまには、引き続き温かいご支援をお願いいたします。

クーポンを届けられる子どもの割合



約2人に1人

定員:153名、応募:367名(約2人に1人)

子どもたちの体験格差をなくす

ハロカル

子どもの
体験奨学金

HELLO! CULTURE & LOCAL!

CFCの活動の原点に立ち返り「体験格差」解消へ

子どもたちに机上の学習に限らない、スポーツや文化、自然などと触れあう「体験」を通じた多様な学びの機会を保障したい。2011年の法人設立時から一貫したこの思いをもとに、これまでスタディクーポン事業を展開してきました。

活動を始めて10数年、子どもの学習に対する支援の動きは少しずつ広がってきました。一方、「体験」の必要性や「体験」機会の格差の問題については未だ社会で十分に議論されず、見過ごされてきているのが現状です。

法人設立から10年、もう一度原点に立ち返り「体験」を含めた学び支援を考えていくべきではないか。そんな思いのもと、「体験格差」の解消に向けた取り組みをスタートしました。

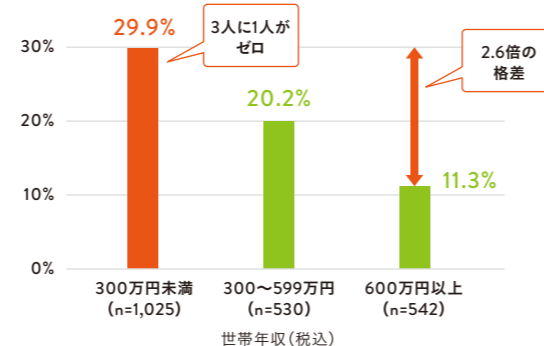


設立母体のNPO法人ブレンヒューマンティではキャンプ活動などの体験機会を提供しています

3人に1人が体験「ゼロ」
—「体験格差」の実態

「体験格差」解消に向けた取り組みに先立ち、CFCは2022年に「体験格差」に焦点を当てた初の全国調査を実施しました。小学生の保護者2,097人への調査結果からは「低所得家庭の子どもの約3人に1人が1年間学校外の体験ゼロ」という厳しい現実が浮かび上がりました。また、世帯年収の多寡で「体験ゼロ」の子どもの割合に2.6倍の差があり、家庭の経済状況により子どもの「体験」機会に大きな格差が生じていることも明らかになりました。

学校外の体験がない子どもの割合(直近1年間)



保護者から寄せられた声

やりたいと言われても、どれも、経済的に無理なので、子供自身が、無理だよねって、何も言わなくなりました。だんだんわかる年齢になり、子供なりに我慢しているようで、申し訳なく思っています。

愛媛県/小4保護者

母子家庭のため、周りの友達と同じように色々な習い事をさせてあげることができず悔しい。スイミング、ダンス、英会話、ピアノ、したいことをたくさんさせてあげたかった。

新潟県/小2保護者

海やプールに行ったり、釣り、キャンプ、スキー等経験させてあげられなかった。家庭状況、経済面等が理由で。

兵庫県/小5保護者

新事業「ハロカル」
東京・沖縄・岡山・石巻の小学生159名を支援

2023年、「体験格差」の解消に向け、子どもの体験奨学金事業「ハロカル」をスタートしました。「ハローカルチャー&ローカル」という2つの想いが込められた「ハロカル」では、地域のNPOや体験を支える大人たちと協働し、まち全体で子どもの体験を後押しし、包摂する社会を目指しています。

2023年度は東京・沖縄・岡山・石巻の4地域で159名の子どもの「体験奨学金」を提供。2024年度からは新たに北海道でも「ハロカル」を実施します。



スポーツや音楽、工作といったさまざまな体験プログラムに参加できます

保護者から寄せられた声

書道を体験

ハロカル奨学金を通じて、娘がかねてから習いたかった書道を始めることができました。豊かな情操教育を受けることにつながりました。

小3保護者

キャンプを体験

みかんをお腹いっぱい食べて、お友達とも仲良く遊べて楽しかったと言っていました。沢山歩いて疲れたかと思うのですが、帰って来ても予想外に元気でしたので、余程楽しかったのだなととても嬉しく思いました。

小6保護者

サッカーを体験

子供の可能性や世界が広がった事に親として嬉しくてたまりません。やりたい事をやらせてあげられた喜びは、こちらの団体様に知り合えたからこそです。

小2保護者

初の書籍『体験格差』を出版

「体験格差」の現状を社会全体で共有し、解決に向けた議論の土台を作っていくことを目的に、2024年4月、代表理事の今井悠介が初の著書『体験格差』（講談社現代新書）を上梓しました。CFCが実施した全国調査データの分析や当事者の方へのインタビュー、そして「体験格差」解消に向けた5つの提案についてまとめています。(2024年8月現在第6刷)



こちらから
ご購入いただけます

amazon



市内小中学生約28,000人にクーポンを！

子どもたちの体験を
応援する政策事例が
長野市で実施

これまでCFCは7自治体と協働し、主に子どもの学習を支援してきました。加えて、2023年11月から2024年1月まで、経済産業省「未来の教室」実証事業に採択され、長野市と「みらいハッ!ケンプロジェクト」を実施し、市内の全ての小中学生約28,000人に体験で利用できるクーポンを提供しました。地域のNPO等との連携、地域資源を活かした体験の場づくりなどが特徴で、子どもたちは習い事だけでなく、長野ならではのウィンタースポーツなど様々な体験に参加できます。

CFCスタッフからのご報告

News from CFC Staff



吉岡 新

東京事業部 ディレクター

2016年にCFCに入職。2022年にCFCから退職
 出向、内閣府及び子ども家庭庁で勤務し「こどもデータ連携」プロジェクトを担当。2024年からCFCに復職し、東京事務局で自主事業や自治体協働事業を統括。

能登半島地震で被災した子育て家庭への緊急支援を開始 被災地の子どもたちの学びをサポートします

新たに募ったご寄付をもとに、能登半島地震で被災した子どもたちへの支援を2024年6月から開始しました。支援ニーズを調査するために、地震発生後に職員が現地を視察し、被災された方に加え、現地で活動する支援団体や自治体からも情報を収集しました。そこで伺った声をもとに、学習塾や習い事以外にも、部活動の一部費用での利用も可能としています。皆さまからの温かいご支援により、今年度は400名以上の子どもたちに対し助成を行っています。今までの緊急支援での経験を活かし、被災したご家庭に寄り添いながら子どもたちの学びを支援していきます。



三島 叶子

東京事業部
協働事業・緊急支援事業担当

社会課題の解決に取り組みたいの思いから、2023年より三井住友フィナンシャルグループからCFCに出向。SMBCグループ・スタディクーポン事業や能登半島地震緊急支援事業を担当。

SMBCグループ・スタディクーポン事業がスタート 新たなかたちの協働で活動を広めています

三井住友フィナンシャルグループと協働し、「SMBCグループ・スタディクーポン」事業を開始しました。同社からCFCには、継続した資金支援のほか社員の出向やプロボノ派遣等の人的支援を行います。2023年度は学習支援のニーズが高い受験生196名を対象にクーポンを提供し、これまでCFCスタディクーポンだけではカバーしきれなかった受験生に対する支援を拡大することができました。今後はSMBCグループ、CFC、自治体の三者で協働事業を展開する予定です。セクターを横断した新たな協働事例として活動を広めています。



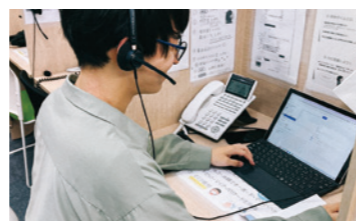
近藤 有希

仙台事業部 自主事業担当

高校時代に東日本大震災を経験。大学時代にブラザー・シスターとしてCFCに参画。福祉関連の会社を経て、2018年にCFCに入職。仙台事務局にてクーポン利用者の相談業務や仙台でのボランティアコーディネートを担当。

大学生ボランティア(ブラザー・シスター)が子どもたちのロールモデルに 定期的な面談を通じて子どもたちをサポートしています

2023年度は仙台・東京で計104名のブラザー・シスターが子どもたちと1,638回の面談を行いました。ある子どもが「将来は自分もボランティアに携わってみたい」と言ってくれました。ブラザー・シスターとの関わりが、子どもの興味を引き出したのかもしれない。これからも子どもたちとより良い関係を築けるように活動していきます。



面談では、クーポン利用についてアドバイスしたり、学習・進路・生活等の相談に応じています

ご支援いただいた皆さま

2023年度は、延べ2,930名以上の個人の皆さま、131社の企業・団体の皆さまからご寄付をいただきました。温かいご支援、本当にありがとうございました。

企業・団体支援者

※スペースの関係で、一定額以上のご寄付をいただいた方のみを掲載しています。また、匿名希望者は掲載していません。※敬称略

助成団体

正味財産増減計算書の要旨 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

	科目	金額(円)
一般正味財産増減の部	1 受託事業収益	124,666,857
	2 受取入金・会費	60,000
	3 受取寄付金等振替額(指定正味財産からの振替額)	367,633,528
	4 雑収益	871,132
	収益計	493,231,517
	1 事業費	444,082,537
	CFCスタディクーポン事業費(自主事業)	273,444,877
	自治体等協働事業費(受託事業等)	170,637,660
	2 管理費	41,514,937
	費用計	485,597,474
	当期経常増減額	7,634,043
	法人税等	164,200
	当期一般正味財産増減額	7,469,843
	一般正味財産期首残高	26,281,913
一般正味財産期末残高	33,751,756	
指定正味財産増減の部	1 受取賛助会費	68,960,000
	2 受取寄付金	286,283,340
	3 受取補助金等	77,173,551
	4 一般正味財産への振替額	▲367,633,528
	当期指定正味財産増減額	64,783,363
	指定正味財産期首残高	388,792,411
指定正味財産期末残高	453,575,774	
正味財産期末残高	487,327,530	

貸借対照表の要旨 (2024年3月31日現在)

	科目	金額(円)
資産の部	1 流動資産	75,848,803
	普通預金	3,001,404
	未収入金等	72,847,399
	2 固定資産	462,870,412
	特定資産	453,575,774
	その他固定資産	9,294,638
3 繰延資産	806,856	
資産の部合計	539,526,071	
負債の部	1 流動負債	52,198,541
	未払金等	52,198,541
負債の部合計	52,198,541	
正味財産の部	1 一般正味財産	33,751,756
	(うち当期一般正味財産増減額)	7,469,843
	2 指定正味財産	453,575,774
	(うち当期指定正味財産増減額)	64,783,363
	正味財産の部合計	487,327,530
負債及び正味財産合計	539,526,071	

貸借対照表、正味財産増減計算書(損益計算書)及び財産目録は、法令及び定款に従い、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

監事 藤井 美明  監事 保木 祥史 

詳細は、WEBサイトで公開している財務諸表(PDF)をご覧ください。
<https://cfc.or.jp/finance>

皆さまからの温かいご支援をよろしくお願いたします

●継続的なご支援「CFCサポート会員」 毎月1,000円~のご寄付で、子どもたちを支える方法です。

●今回のご寄付 ご都合の良いときに、任意の金額をご寄付いただけます。

銀行口座 金融機関 三井住友銀行 亀戸支店(支店コード:254)
 口座番号 普通 7862751
 口座名義 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

ゆうちょ銀行(郵便振替) 記号・番号 00160-6-265327
 口座名義 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

※クレジットカードでのご寄付は下記WEBサイトから受け付けております。 ※銀行口座へのお振込みの方で、領収書が必要な方はチャンス・フォー・チルドレン事務局までご連絡ください。

●遺言によるご寄付・相続財産からのご寄付 ご自身や故人様の大切な想いを、子どもたちの未来につなげていただけませんか。

寄付金控除について

チャンス・フォー・チルドレンへのご寄付は、所得税、相続税、法人税などの税制上の優遇措置を受けることができます。

WEBからご支援いただけます。

CFC 寄付 検索

